

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。春の日差しが日増しに明るくなり、梅の花をはじめ春の花々が咲き誇る良き日に、犬山市副市長永井恵三（ながいけいぞう）さま、犬山市議会議長柴田浩行（しばたひろゆき）さま、犬山商工会議所専務理事奥村好樹（おくむらよしき）さまはじめ多数のご来賓の方々にご臨席を賜り、卒業式を盛大に挙行できますことをうれしく思います。また、ご参列の保護者の皆様には卒業生の大学生活を様々な面で支えていただいたことに感謝申し上げるとともに、お子様がたの卒業を心からお喜び申し上げます。

さて、市邨学園名古屋経済大学は本日、大学院博士課程1名、大学院修士課程41名、学部学士課程523名を送り出すことになりました。

卒業生の皆さん、学生生活はいかがだったでしょうか。4年前の学部学生の皆さんが入学された年は、新型コロナウイルスの感染拡大が収束しておらず、入学式に保護者の皆様をお招きすることができませんでした。皆さんの学生時代は新型コロナウイルス感染拡大防止のための規制を緩和する4年間でもありました。この経験は、今後、予期せぬ事態に直面し、対応を必要とした時のために貴重な経験となるでしょう。

卒業生の皆さんの中には、学生時代に勉学に、スポーツに、あるいはボランティア活動に

と全力を出すことができ、充実感に満ち溢れて、ここに臨んでいる人もあるでしょう。しかし、なかには卒業できたことに安堵はしても、何か物足りない、やり残したことがあると感じている人もあると思います。しかし、心配する必要はありません。日本語の「卒業」という言葉は勉学を終えるというイメージがありますが、英語で卒業を意味するのによく使われる graduation という言葉は段階を意味し、人生の新たな段階に踏み出すことを表現しています。つまり、これから新たな学びが始まるのです。

最近の科学技術の発達は人類が経験もしなかった領域に至っていると言えます。ＩＴとりわけ生成ＡＩの発達は人類の将来を危うくするのではないかと言われ、その規制が問題となっています。科学技術の発達に対するこのような規制は新しい段階のものではないかと思います。他方で、人類にとって古くて新しい問題も深刻さを増しています。ウクライナやパレスチナなどの地域紛争や地球温暖化を中心とする環境破壊問題は科学技術の発達により人類の生存を脅かす問題として警告されて久しいにもかかわらず、深刻度は増すばかりです。

【科学は発達すれど人類は発達せず】とでも言うべき現象でしょうか。そのような中で、我々は、現に起こっている人類の将来にかかわる様々な問題に注目し、それらを恐れるのではなく、解決するための当事者意識を持って臨むことが重要だと思います。そのためには、広い知識を求めて学び続けることが必要です。たとえば、ＩＴの発達によりどのような職業が必要となり、どのような職業がＩＴにとってかわられるかは様々な議論されてきました。自

動運転技術の発達には運転手を不必要にするとか、ロボットの発達が重労働を不要にすると言われてきました。しかし最近では、自動翻訳技術の発達は同時通訳者や翻訳者を不要にするとか、AI の発達により国会の定型的答弁を用意する官僚の仕事は不要となると言われ、ブルーカラーの仕事よりホワイトカラーの仕事の方がなくなるといふ説が有力になっています。さらに直近の生成 AI の発達により、小説、絵画、アニメの作成や作曲、薬の開発などにも AI 技術が貢献するようになり、より創造的分野にまで AI 技術が使われるようになってきました。人類は今こそ「人とは何か」とか「人が追及すべき価値は何か」という問題を常に考える必要があると言えましょう。本学の建学の精神である【一に人物、二に伎倆】という言葉を思い起こしてください。

卒業生の皆さんは、AI という過渡期で未完成な技術がどうなるかに一喜一憂するのではなく、いかなる事態にも柔軟に対応できる、学び続ける人間であってください。

名古屋経済大学の教職員を代表して、すべての卒業生の未来が明るいものであることを祈念して私の告辞といたします。

改めてご卒業おめでとうございます。